



## 外国出張報告書

平成 27 年 3 月 19 日

1. 出張国名           ウズベキスタン
2. 出張月           平成 26 年 2 月
3. 出張目的           カットドレーンに関する施工確認及び現地 JIRCAS ワークショップへの参加：A

#### 4. 成果の概要

乾燥地域における農地の塩害に対する塩類集積の抑制や低減のための技術検討において、地下水位を効果的に低下させる排水改良等を活用した技術として穿孔暗渠技術カットドレーン工法を活用した。これら排水改良による除塩促進試験について、現地での実施状況の調査や現地機関や農家との意見交換を行うとともに、タシケント市内においてウズベキスタンの関係機関との現地 JIRCAS ワークショップに参加した。ワークショップでは、本年度の試験結果の報告や意見交換が実施され、来年度に向けた検討がなされた。

穿孔暗渠機カットドレーンの施工にあたっては、空洞を成形するために土壌を切断、変形させる塑性を発現するための土壌水分がある程度必要である。しかし、土壌水分が高くなるとトラクタがスリップしてしまう点がある。また、カットドレーンの穿孔空洞はリーチングによる灌水強度が高いことから流水による洗掘が発生しやすく、流入水や流出水の水量を制御するための掘削部表面の締固めやパイプ暗渠による集水渠の設置など、使用にあたっての工夫が必要であった。これらについては、現地ワークショップでも指摘されており、今後の試験実施にあたって検討すべき内容であった。なお、独特な工法であり活用を期待する意見もあり、利活用できる範囲や方法についての検討が必要と考える。